

**2011年3月期
第2四半期 連結決算説明会**

**2010年11月15日
大陽日酸株式会社**



2011年3月期 第2四半期業績



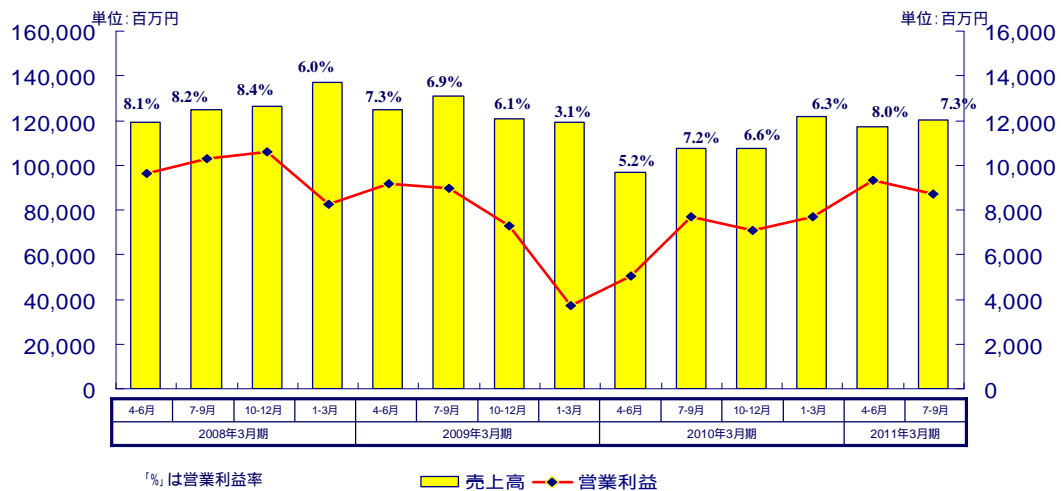
2011年3月期 第2四半期業績

単位: 億円

	09年4～9月 利益率	10年4～9月 (公表値)	10年4～9月 (実績)	前期比 増減率	公表値比 増減率
売上高	2,041	2,300	2,373	+ 331 + 16.2%	+ 73 + 3.2%
営業利益	127 6.3%	150 6.5%	180 7.6%	+ 52 + 41.3%	+ 30 + 20.0%
経常利益	123 6.1%	142 6.2%	178 7.5%	+ 54 + 44.3%	+ 36 + 25.4%
四半期純利益	68 3.3%	80 3.5%	102 4.3%	+ 33 + 49.7%	+ 22 + 27.5%



四半期ごとの業績推移



セグメント業績



2011年3月期 セグメント別業績

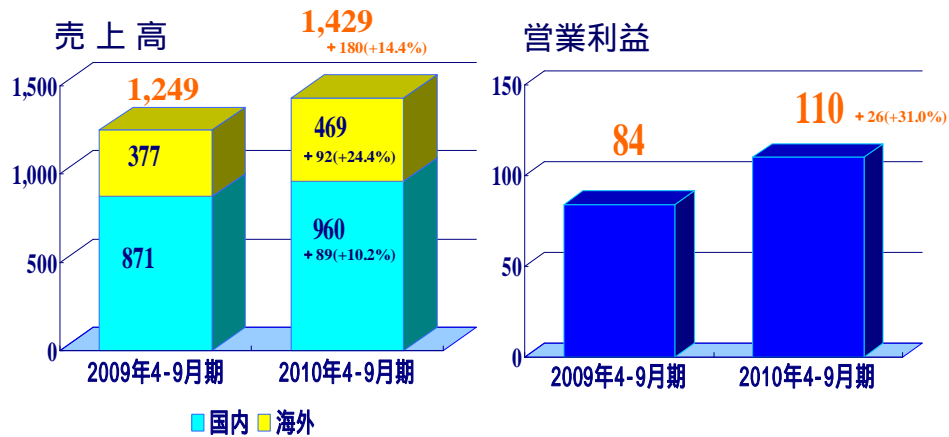
単位:億円

	2010年3月期 (第2四半期累計期間)		利益率	2011年3月期 (第2四半期累計期間)		利益率
	売上高	営業利益		売上高	営業利益	
産業ガス	1,249	84	6.8%	1,429	110	7.7%
エレクトロニクス	510	26	5.1%	617	52	8.4%
エネルギー	133	5	4.3%	166	4	2.8%
その他	147	19	13.4%	158	20	13.1%
調整額		8			7	
合計	2,041	127	6.3%	2,373	180	7.6%



産業ガス関連事業

単位: 億円



売上高のグラフは、海外売上高ベースで分類しております

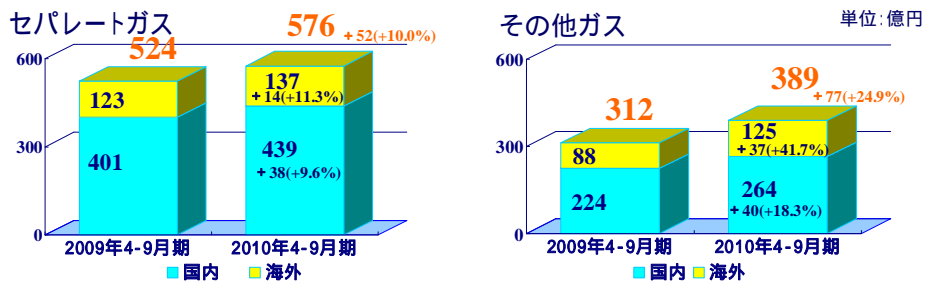


TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

7

2010/11/15

主な産業ガス関連事業 (売上高)



海外

北米は、新規連結も加わり増収
アジアは、バルクガスが好調

国内

鉄鋼、化学向けが引き続き好調
中小規模ユーザ向けバルクガスも
回復基調

海外

北米、アジアともに回復基調

国内

炭酸ガスは、製鋼、自動車向け溶接用好調
水素、ヘリウムなども電子関連向けに堅調



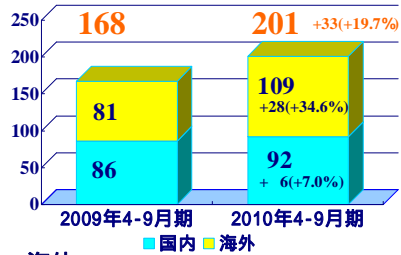
TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

8

2010/11/15

主な産業ガス関連事業(売上高)

溶断機器・材料



海外

北米は新規連結も加わり増加

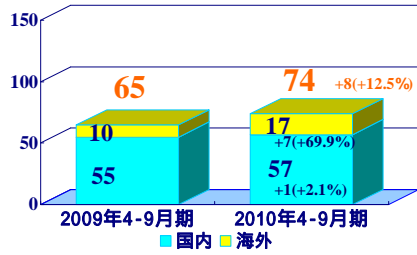
国内

工事・修理需要増加

溶接機器・ロボット及び材料は緩やかな回復基調

機械装置

単位: 億円



海外

鉄鋼・化学を中心とした主要産業が回復基調
設備投資新規引合い増加

国内

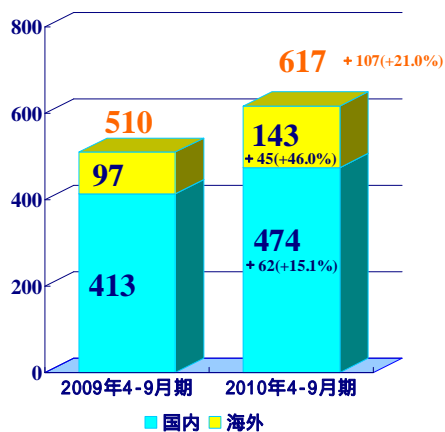
進行基準対象工事が概ね順調に進捗
大手電炉向けに空気分離装置を受注



TAIYO NIPPON SANSCO
The Gas Professionals

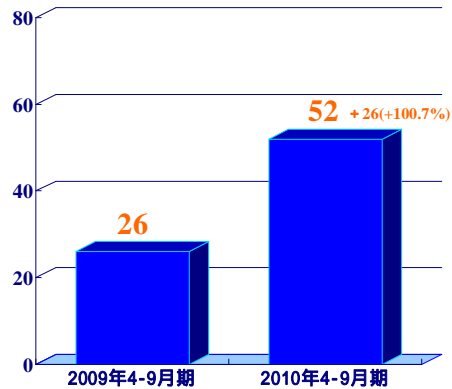
エレクトロニクス関連事業

売上高



営業利益

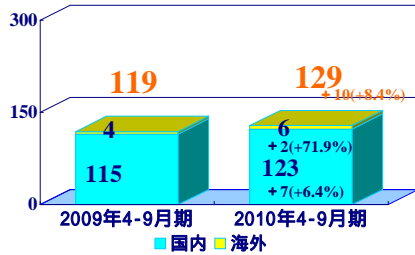
単位: 億円



TAIYO NIPPON SANSCO
The Gas Professionals

主なエレクトロニクス関連事業(売上高)

セパレートガス



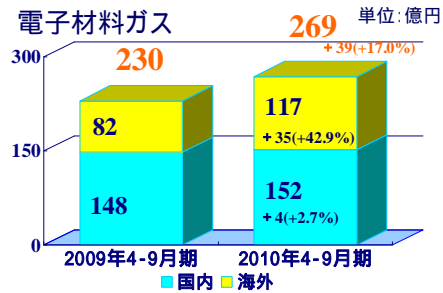
海外

アジアは、窒素、アルゴンともに回復基調

国内

窒素は、半導体・液晶向けに堅調
アルゴンは半導体シリコン向けに好調

電子材料ガス



海外

台湾、韓国、中国の液晶や半導体向け好調
シンガポールで貯蔵設備を増強

国内

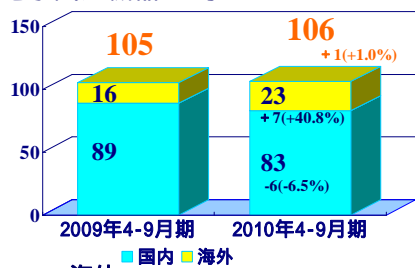
半導体、液晶向け需要好調



TAIYO NIPPON SANSCO
The Gas Professionals

主なエレクトロニクス関連事業(売上高)

電子関連機器・工事



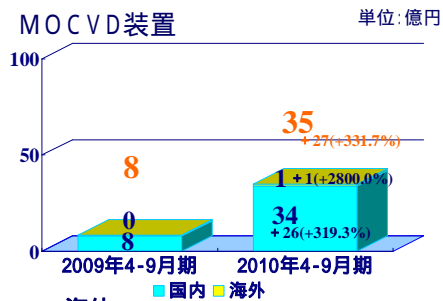
海外

アジアは、太陽電池の新規投資
などもあり、回復傾向にあります

国内

一部工事の計画遅延等により減少

MOCVD装置



海外

台湾向けに出荷

国内

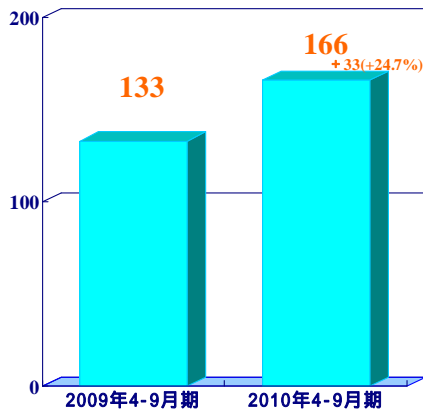
大型量産機が順調に出荷
活発な引合い継続



TAIYO NIPPON SANSCO
The Gas Professionals

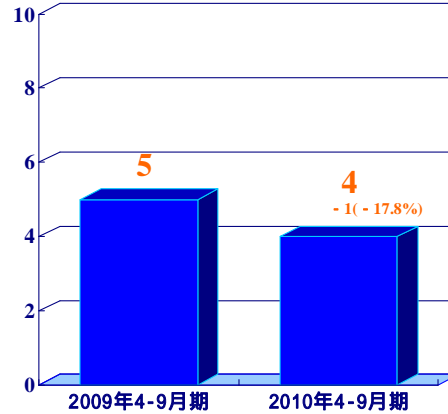
エネルギー関連事業

売上高



営業利益

単位: 億円



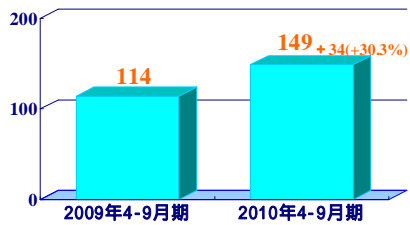
TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

13

2010/11/15

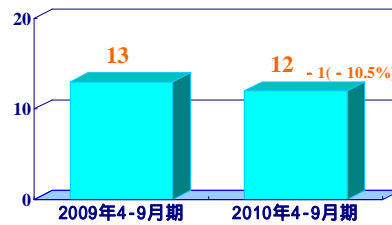
主なエネルギー関連事業(売上高)

LPガス



機器・工事

単位: 億円



国内

輸入価格上昇に伴う販売価格値上げ
記録的猛暑により民生用は伸び悩み、
工業用需要は堅調
地域販社の統廃合を推進中
(2001年度28社 2010年度8社)

国内

工業用は設備投資需要減少

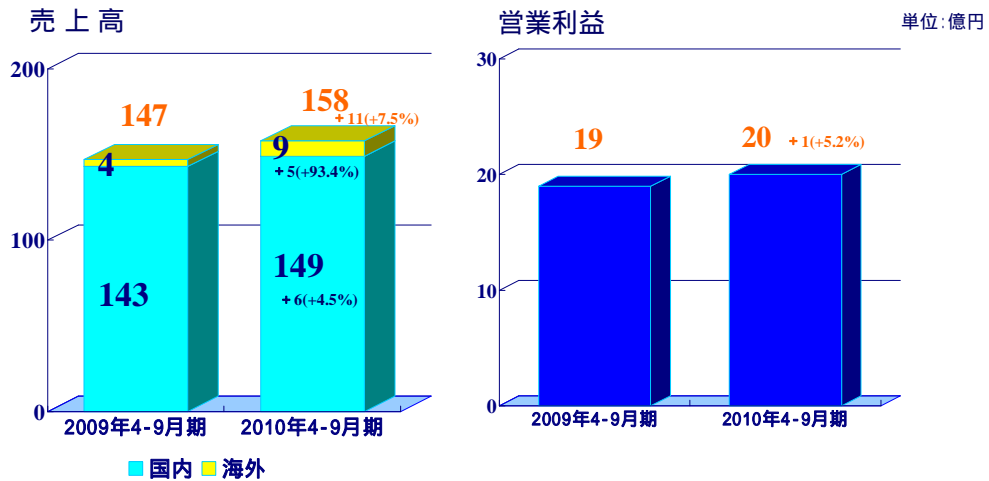


TAIYO NIPPON SANSO
The Gas Professionals

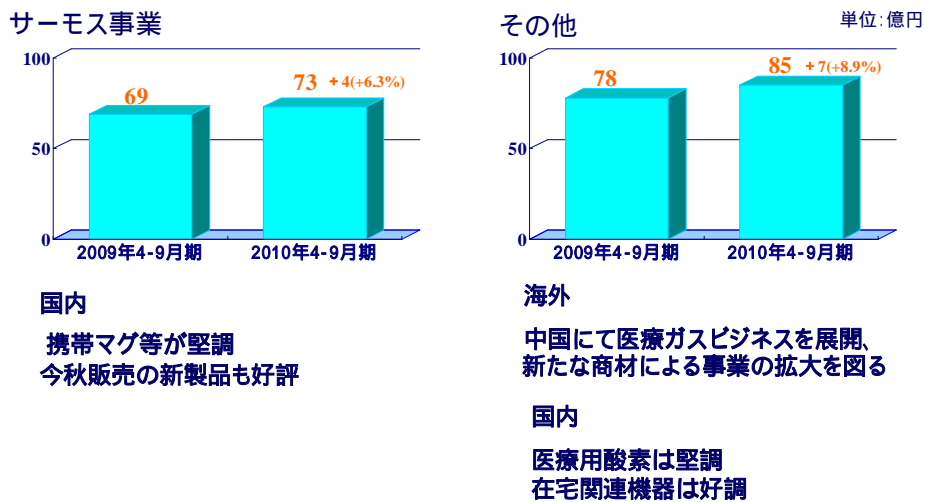
14

2010/11/15

その他事業



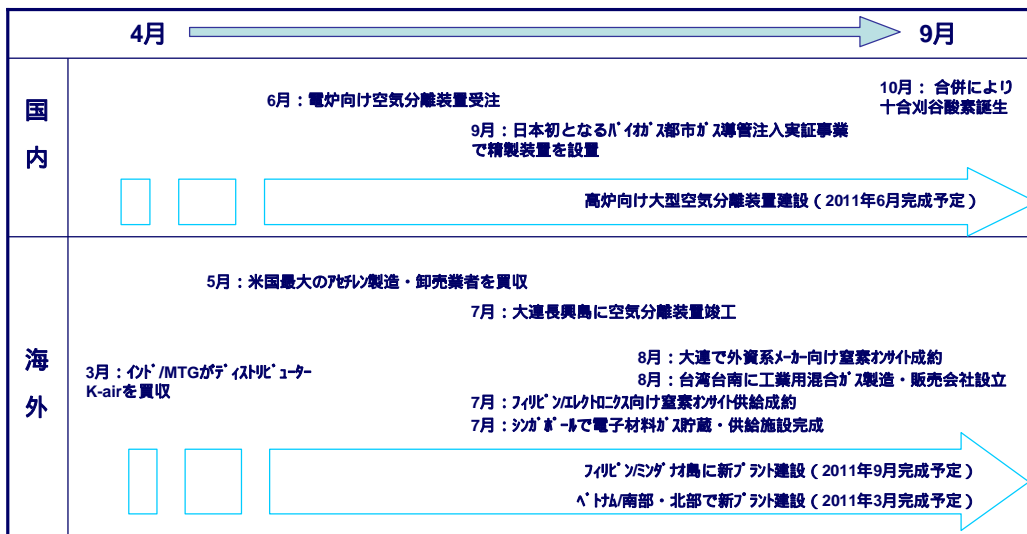
主なその他事業(売上高)



上半期のハイライト



上半期のハイライト(国内・海外)



TOPICS



TOPICS

大口径大型量産用のデモ機 (UR26K) を設置予定

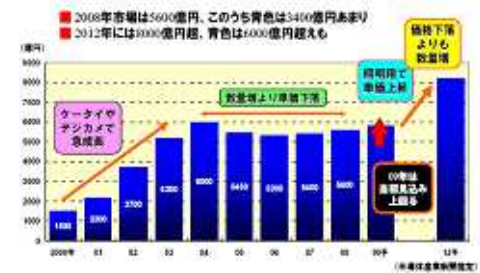
LED向け 6インチ×10枚タイプ

Power Devices向け 8インチ×6枚タイプ



画像：大口径大型量産機「UR25K」

LEDチップの世界市場規模（青色以外も含む）

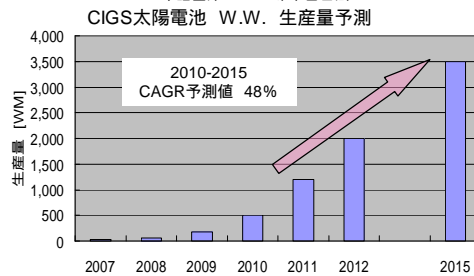


TOPICS

CIGS系太陽電池向け材料ガス(H₂Se)生産能力増強を計画中

CIGS薄膜太陽電池市場見込み

- 国内メーカーCIGS市場をリード
- W.W.生産量2010年 500MW 2015年3,500MW
- 2015年H₂Se需要見込み150トン/年
- 薄膜Siに比べ高変換効率、低ワット単価 結晶系太陽電池の対抗馬となりつつある
- 半導体ファウンダリー巨人台湾TSMCがCIGS事業へ参入表明
- 国内外の電子デバイスメーカー・装置メーカー・材料メーカー多数事業検討中



出典: 2010年版 太陽電池関連技術・市場の現状と将来展望 (富士経済: 2010/07/23)

太陽光発電に関するロードマップ「PV2030+」
(変換効率(%)の現状と今後の目標値)

セル種類	現状		2017年(目標値)	
	モジュール	セル	モジュール	セル
結晶Si	~16	25	20	25
薄膜Si	~11	15	14	18
CIGS	~11	20	18	25
化合物系	~25	41	35	45
色素増感	-	11	10	15
有機計	-	5	10	12

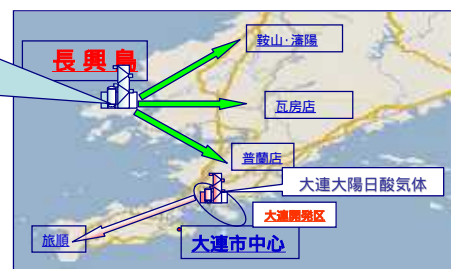
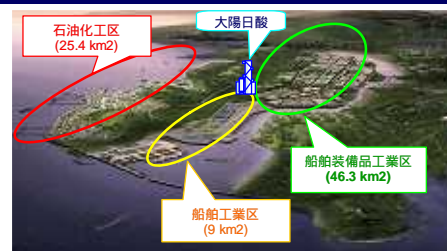
出典: EE Times Japan 2010.10

TOPICS

長興島に最新プラント完成

中国東北地区最大の液化ガス製造プラント完成

長興島は東北開発の国家級プロジェクト
(5点1線計画)の最重要地域



TOPICS

JAXAはやぶさプロジェクトに貢献



ウーメラ砂漠に落下したカプセル

画像提供: JAXA 宇宙航空研究開発機構
Japan Aerospace Exploration Agency

開発時には、当社の宇宙環境試験装置(スペースチェンバー)が貢献

回収カプセル内の分析用として、当社製の高純度液体窒素が貢献

スペースチェンバー例



JAXA筑波宇宙センターに設置された日本最大のスペースチェンバー

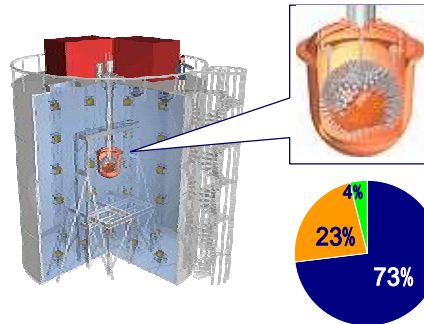


小型のスペースチェンバーである「内惑星熱真空環境シミュレーター」

TOPICS

XMASSプロジェクト(東京大学宇宙線研究所)に貢献

宇宙のダークマター(暗黒物質)検出する心臓部となる装置を収める真空断熱容器や、キセノン精留装置、他周辺装置を製作、納入



画像提供: 東京大学宇宙線研究所
神岡宇宙素粒子研究施設

■ダークエネルギー ■ダークマター ■通常の物質

新中期経営計画について (2011~2013年度)



新中期経営計画の基本的な考え方

当社101年目の新たなスタート

原点回帰

今後の更なる発展のため、並びに
次なる50年、100年を
見据えた基礎固め



新中期経営計画の基本的な考え方

- 1) コンプライアンス、保安確保、品質管理の強化
- 2) 費用対効果、労力対効果を徹底的に追及した効率的な経営
- 3) 地域基盤の強化
- 4) シリンダービジネスへの注力
- 5) R & Dの強化
- 6) 積極投資の継続

企業価値の創造・向上



基本重要戦略

現中期経営計画の基本重要戦略を継続

1. 成長市場・成長地域への経営資源の集中
2. 川上戦略の強化
3. M & A戦略の推進
4. コストダウンの実行
5. グループ経営の強化



画像：ベトナム（ハノイ）にて建設が進む空気分離装置



2011年3月期 業績予想(通期)



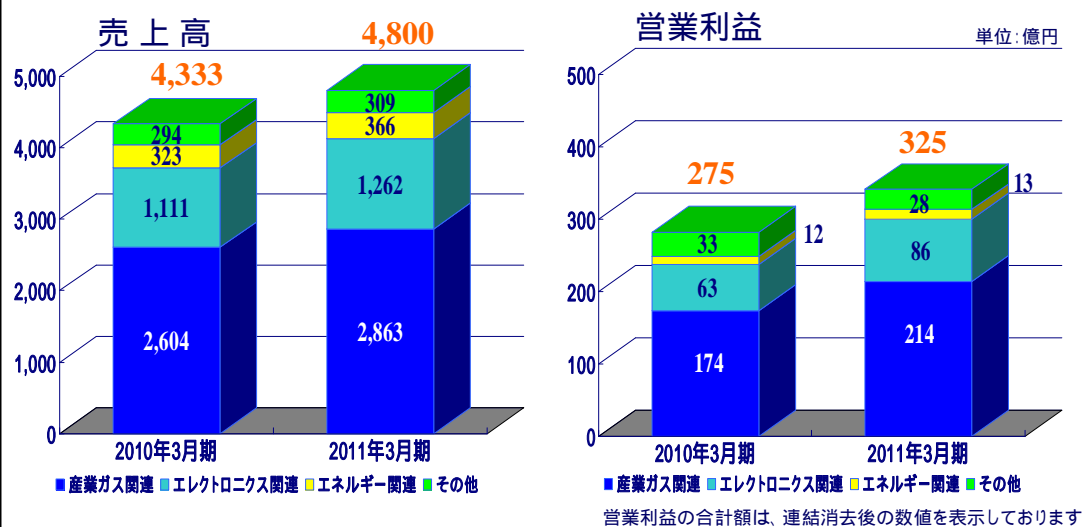
2011年3月期 連結業績予想(通期)

単位: 億円

	10年3月期 利益率	11年3月期 (公表値)	11年3月期 (予想)	前期比 増減率	公表値比 増減率
売上高	4,333	4,800	4,800	+ 466 + 10.8%	± 0 ± 0.0%
営業利益	275 6.4%	325 6.8%	325 6.8%	+ 49 + 17.9%	± 0 ± 0.0%
経常利益	270 6.2%	305 6.4%	305 6.4%	+ 34 + 12.7%	± 0 ± 0.0%
当期純利益	157 3.6%	170 3.5%	170 3.5%	+ 12 + 7.9%	± 0 ± 0.0%



2011年3月期 セグメント別業績予想(通期)



注意事項

本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本説明会および本資料には将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されておりますが、これらは現時点で入手可能な情報により当社が判断、想定したものであり、実際の業績は様々なリスクや不確実性(経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限りません。)を含んでおります。

このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございますことをご承知おきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控え下さいますようお願い致します。

